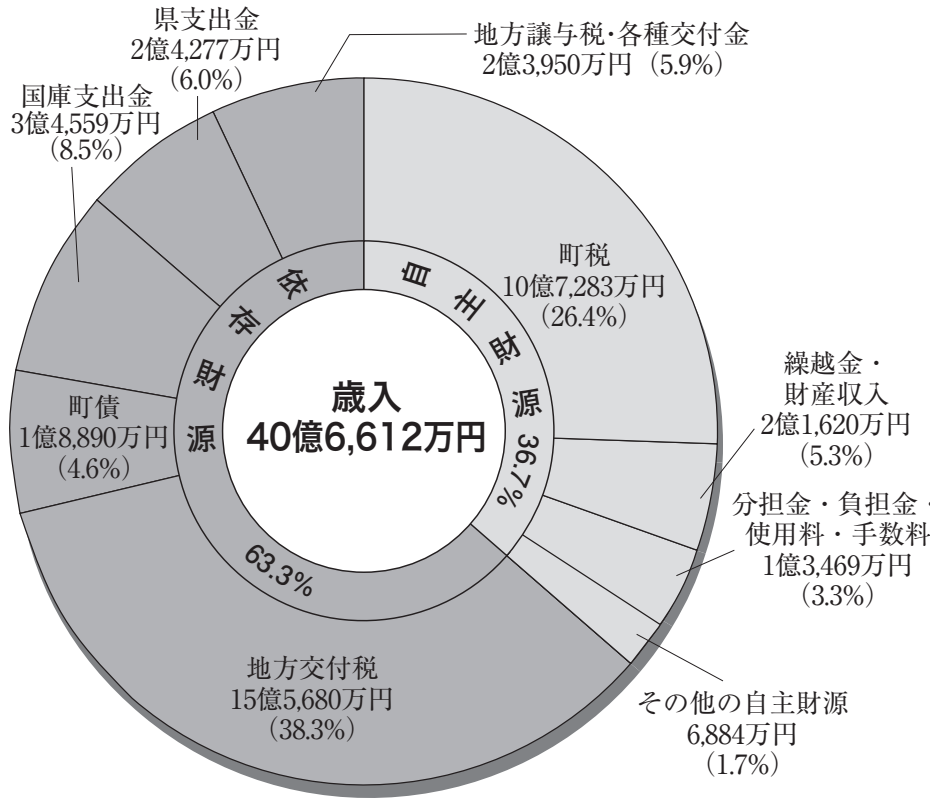


# 平成28年度 決算報告

平成28年度は、①楽しく子育て・元気で長生き対策②安全・快適なまちづくり③教育・文化・スポーツの推進④豊かな自然と産業が活きづくまちづくり⑤地域コミュニティの推進と町財政の健全化の5つを重点施策に掲げ、「夢を育める安全で安心な快適なまち」の実現に取り組みました。



## 一般会計決算額

歳入	40億6,612万円
歳出	39億8,514万円
差引	8,105万円

## 歳入

歳入は、大きく分けて自主財源と依存財源に分けられます。自主財源では住民税、固定資産税などの町税が、依存財源では地方交付税が大きな柱となっています。歳入全体では前年度と比べて3億3,457万円の減でした。

町税は、町民税及び町たばこ税の減収により494万円の減となりました。また、国庫支出金は、年金生活者等支援臨時福祉給付金国庫補助金の皆減等により7,184万円の減となりました。町の借金である町債は、臨時財政対策債や消防団施設整備事業債の減等により76,000千円の減となりました。なお、前年度に引き続き、町の貯金にあたる基金からの繰り入れは行いませんでした。

## 歳出(重点施策ごと)

■楽しく子育て・元気で長生き対策  
平成28年度も、従来に引き続き子育て支援に力を入れました。新たな取り組みとして、学童保育所の保護者負担金(月額6,000円)の無料化を開始し、これに1,094万円を支出しました。また、障害者自立支援給付費負担金も増になりました。これらを含め、民生費は12億9,964万円、全体の32.6%となり、歳出で最も多くの割合を占めています。

## ■安全・快適なまちづくり

緊急車両通行不能区間解消への取り組みや橋りょうの点検などが進み、土木費は5億2,670万円となりました。また、消防団再編強化の一環として、第2分団詰所の建設、第2分団

## ■豊かな自然と産業が活きづくまちづくり

皆野駅前町内の飲食店が集まる「皆野横丁」実施のための補助金を、商工費から200万円支出しました。また、有害鳥獣対策として、農林水産業費から防護柵設置費補助金や駆除委託料、捕獲事業従事者補助金、猟友会への補助金として、172万円を支出しました。

## ■地域コミュニティの推進と町財政の健全化

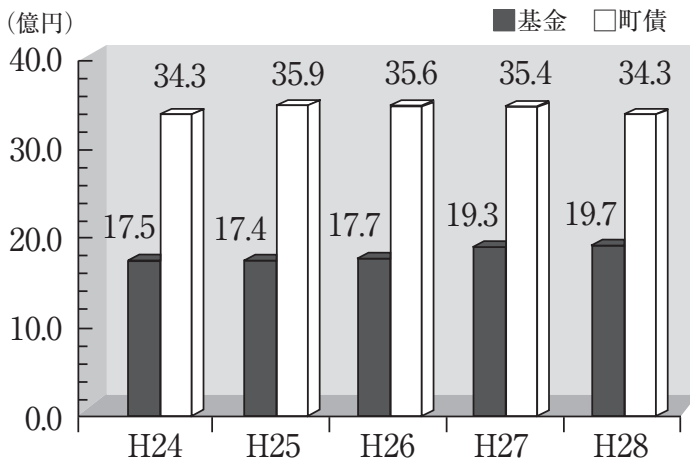
平成28年度から水と緑のふれあい館をシルバー人材センターの指定管理へと移行しました。年間362万円の委託料を支出しました。

および第1分団第1部の消防車両の更新を行い、消防費が3億1,415万円となりました。平成25年度から継続してきた消防団の再編強化は、これをもって完了しました。

## ■教育・文化・スポーツの推進

グローバル教育の一環として、多様な英語教育に取り組みました。幼稚園への英語の非常勤講師配置や、小学校低学年向けの英語水泳教室「プールでEnglish Time」の実施、中学生への英語検定受験料の補助など、グローバル教育に係る事業分として教育費から108万円を支出しました。また、3年ごとに実施しているドイツ・ビュアシュタット市交流事業の補助金として、同じく教育費から242万円を支出しました。

## 基金と町債残高



基金は貯金を、町債は借金を示します。平成28年度は、平成27年度と比べ基金は増、町債は減となりました。